

特別な支援を必要とする幼児の理解と支援・第3回幼稚園臨任研修会

今年度の幼稚園臨任研修会は、3回計画・実施しました。

去る9月3日(水)に開催された第3回目は、特別教育支援員、特別支援教育補助員等並びに学級担任を対象として実施しました。

沖縄県立西崎特別支援学校の城間園子教頭を講師に「特別な支援を必要とする幼児の理解と支援」について実践例を交えながらの講義をいただきました。その後、日々の実践の課題等についてグループごとに協議が行われました。

特別支援教育コーディネーターの先生方や島尻特別支援学校幼児部の先生方がファシリテーターとして、グループ協議をリードして下さいました。明日からの実践に役立つ充実した研修会となりました。



写真1 講義中の城間園子教頭



写真2 グループ協議

【研修会の概要】

- 1 開会
  - (1) 開会のことば
  - (2) 所長のあいさつ・講師紹介 島尻教育研究所長 上原勝晴
- 2 講義及び協議
  - (1) 講義 「特別な支援を必要とする幼児の理解と支援」
  - (2) グループ協議
  - (3) まとめ
- 3 閉会のことば

【講義の概要】 講師：城間園子（西崎特別支援学校 教頭）

- 1 幼稚園における特別支援教育とは
- 2 支援の必要な幼児への対応
  - (1) 支援の必要な幼児への気づき
  - (2) 気づきからアセスメントへ
  - (3) アセスメントから支援方法へ
- 3 障害のある幼児を持つ保護者への対応

グループ協議のファシリテーター

- 1 グループ 新崎每子 (南城市特別支援教育コーディネーター)
- 2 グループ 宮城哲子 (糸満市特別支援教育コーディネーター)
- 3 グループ 仲嶺けい子 (島尻特別支援学校幼稚園教諭)
- 4 グループ 与久田裕子 (島尻特別支援学校幼稚園教諭)
- 5 グループ 城間園子 (西崎特別支援学校教頭)



受講生の感想

- 支援を要する子の関わりや援助のヒントがたくさんあり、試してみたいと思いました。
- 支援の必要な幼児は問題行動を起こしたとき、気づきだけでおわるのではなく、どうして起こしたのか、原因など背景やいろいろなことを考えることが必要だと学びました。
- 他の先生方の支援状況を聞き、対応の方法がいろいろあることがわかりました。
- ファシリテーターの先生方から対応などについて詳しく話を聞けてとても参考になりました。自分の対応を「それでいいよ」と認められた事で自信になりました。
- 気になる園児の事例を一人ずつあげていき、その対応策をファシリテーターの先生を含めて、グループ全員で話し合えて良かったです。